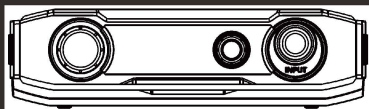


IP-PTT A901M

取扱説明書



j.mobile

目次

[目次]	1
[はじめに]	2
[安全上のご注意]	3
[ご使用前の確認と設定]	6
・本体付属品	6
・各部の名称と機能	6
・組立方法	8
・取付方法	9
・電源を入れる	10
・電源を切る	10
[基本操作]	11
・交信の方法	11
・通話音量の調節	12
[保証と責任]	13
[その他]	14
・主な仕様	14
・ユーザー専用サイト	14

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は本製品の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

※取扱説明書のすべての内容は、初期設定値を基準に作成されています。

※本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

※本書では、複数の操作が可能な機能や設定方法について、操作手順がわかりやすい方法を説明しています。

※本書では「A901M」を「本端末」と表記させて頂いておりますので、あらかじめご了承ください。

※本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

※本書のイメージおよび一部機能はソフトウェアの変更(アップグレード)によって予告なく変更および修正されることがあります。

※本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

株式会社J-Mobile

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-5 岩清日本橋ビル 3階

www.j-mobile.co.jp

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくために、重要な内容や守っていただきたい事項を記載しています。各事項は以下の区分に分けて記載しています。ご使用の際には、次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示は、人が傷害を負うことが想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険

 ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所では、火災・爆発の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

警告

 病院内や電子機器・医療電気機器など、使用を禁止されている場所では電源を切ってください。本機からの電波が影響を及ぼすことがあります。

 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー、および助細動器）や医用電気機器の近くで本製品を使用しないでください。電波により影響を及ぼすことがあります。

 自動車を運転する場合は、本端末の音量を車外の音が聞こえる程度に設定してください。交通事故の原因になります。

 自動車の運転者が使用する場合は、車を安全な場所に止めてからご使用ください。交通事故の原因になります。

 電源ケーブル（標準構成品）を傷つける、加工する、ねじる、無理に引っ張る、無理に曲げる、加熱するなどしないでください。ショートや発熱により発火・感電の原因になります。

 電源ケーブル、USBケーブル（標準構成品）が傷ついたり、つぶれたりした場合は、使用しないでください。ショートや発熱により発火・感電の原因になります。

 雷が鳴り出したら、本端末や機器、電源ケーブルやUSBケーブルには絶対に触らないでください。感電の原因になります。

 本端末が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、部品には直接触らないでください。けがの原因になります。

- ❗ 指定以外の電源および電圧を使用して本端末を使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ❗ 電源ケーブル(標準構成品)を接続するときは、極性(プラス、マイナス)を間違えないように十分注意してください。火災、感電、故障の原因になります。
- ❗ 長時間使用しないときは、安全のため本端末に接続している電源を取り外してください。発熱・発火・火災の原因となります。
- ❗ 電源ケーブル(許容量の少ないケーブル)やヒューズ(指定値5A)は指定以外のものを使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ❗ 乳幼児や小さなお子様の手が届かない場所で使用、保管してください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど感電、傷害の原因になります。

注意

- ❗ 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因になります。
- ❗ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- ❗ 使用中、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災・故障・傷害の原因になります。
- ❗ 外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因になります。
- ❗ 本端末を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因になります。
- ❗ コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- ❗ 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因になります。
- ❗ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ❗ 結露した場合は、電源を切り自然乾燥させて、結露がなくなってからご使用ください。結露がある状態でのご使用は故障の原因になります。
- ❗ 自動ドア、火災報知機、医用電気機器などの近くで使用しないでください。本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼし誤作動を起こす可能性があり、事故の原因になります。
- ❗ 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。誤った方向で抜き差しした場合、破損・故障の原因になります。
- ❗ 煙が出たら、すぐに電源を切り、電源ケーブルを外して煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・事故の原因になります。
- ❗ 異常な音がしたり、異臭がするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用を取りやめて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・事故の原因になります。
- ❗ 過剰な発熱をしている場合は、そのまま使用を取りやめ、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いてください。十分に冷めてから、電源を切り、電池を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ❗ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー・ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。普段は、乾いた柔らかい布でふき、汚れなどがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布を固く絞りふいてください。また、電池を取り外した状態の時は、乾いた柔らかい布でふいてください。電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合になります。

<本端末について>

警告

- ⚠ 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。
- ⚠ 本端末類の取付時に、車体に穴をあけて固定する場合は、パイプやタンクや配線などに傷をつけないでください。交通事故や火災の原因になります。

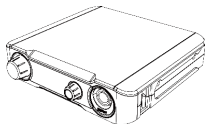
注意

- ⚠ テレビやラジオの近くで送信しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- ⚠ 本端末の取付は、前方視界や運転操作を妨げない場所に設置してください。交通事故の原因になります。

ご使用前の確認と設定

本体付属品

本体



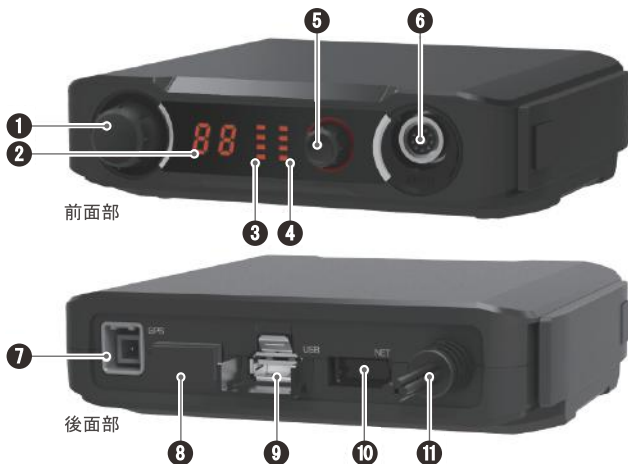
スピーカーマイク



- ☐ マイクステイ(両面テープ2枚/固定用ネジ2本付)
- ☐ ドングル
- ☐ ドングルケース
- ☐ ブラケット
- ☐ USBケーブル
- ☐ 電源ケーブル
- ☐ 電源変換ケーブル
- ☐ 取付ネジ一式(8本)
- ☐ 取付用テープ式
(両面テープ×6枚)
(マジックテープ×3対)
- ☐ 取扱説明書
- ☐ 保証書

各部の名称と機能

■無線機本体



前面部

後面部

1	グループチャンネルつまみ / つまみを左右 (DOWN・UP) に回して変更します。
2	グループチャンネル表示部 / 選択中のグループチャンネルを表示します。
3	電波強度表示部 / 現在の電波受信レベルを4段階 (全消灯 / 圏外～全点灯 / 強電界) で表示します。
4	GPS電波強度表示部 / 現在のGPS信号受信レベルを4段階 (全消灯 / 圏外～全点灯 / 強電界) で表示します。
5	電源ボリュームつまみ / つまみを押して電源のON・OFF、左右 (DOWN・UP) に回して調節します。
6	マイクコネクタ / スピーカーマイクを本体に接続します。
7	GPSアンテナコネクタ / GPSアンテナケーブルを本体に接続します。
8	シリアルポートコネクタ / 通常時使用しません。
9	USBコネクタ / 通常時使用しません。
10	USBケーブルコネクタ / USBケーブルを本体に接続します。
11	DC電源コネクタ・ACC連動ケーブル / ⊕: 赤色 (バッテリー)、⊖: 黒色 (GND)・⊕: 黄色 (ACC) 外部スピーカージャック (φ3.5) / 外部スピーカーを接続します。

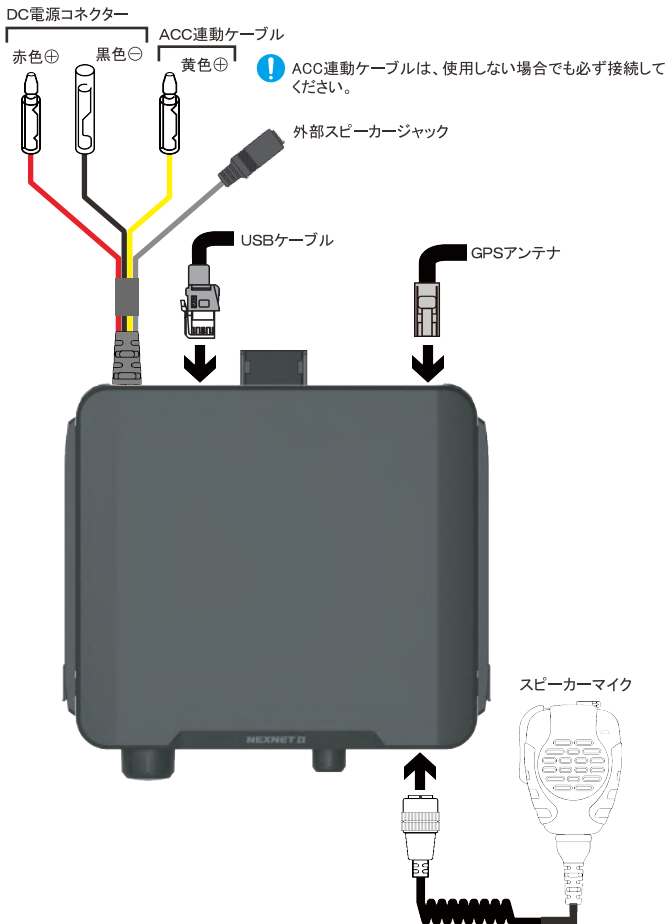
■スピーカーマイク



1	PTTキー / 押すと設定されているグループ、個別連作先、直近履歴先へ送信します。
2	イヤホンジャック / ジャック径φ3.5
3	マイク
4	スピーカー
5	マイクフック / 付属のマイクステイに引っかけます。

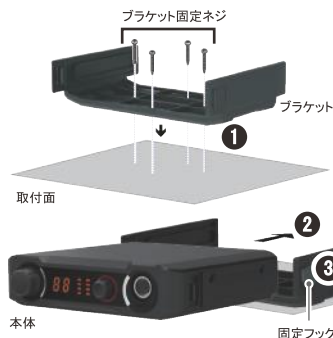
注意、外部機器などを接続する場合は、端末の故障の原因となりますので、必ず指定品を接続ください。

組立方法



取付方法

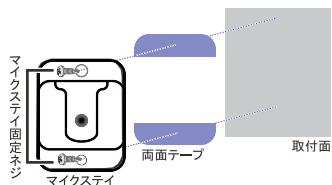
■本体



- 1 同梱されているブラケット固定ネジを使用してブラケットをなるべく平面部に固定してください。
- 2 固定フックを左右開いた状態で、本体をスライドさせてください。
- 3 固定フックを閉じてください。

! 直射日光の当たる場所やエアコンの直接当たる場所には設置しないでください。
加熱による発熱・発火・変形や故障の原因になります。

■マイクステイ



- 1 同梱されている両面テープ片面のはくり紙をはがしてマイクステイ後面上部と下部に貼りつけてください。
＜注意＞両面テープを貼ったらはく離紙をはがさずテープの上を指で数回押して圧着してください。
- 2 マイクステイに貼りつけた両面テープのはくり紙をはがし、なるべく平面部に仮固定してください。
- 3 同梱されているマイクステイ固定ネジを使用して本固定してください。

■マイク



- 1 マイク側コネクタの切り込み部を上にして、本体側コネクタの突起部に合わせて矢印(▲)の方向に差し込んでください。
- 2 時計周りの方向にゆっくり回して、しっかり固定してください。



マイク側コネクタ



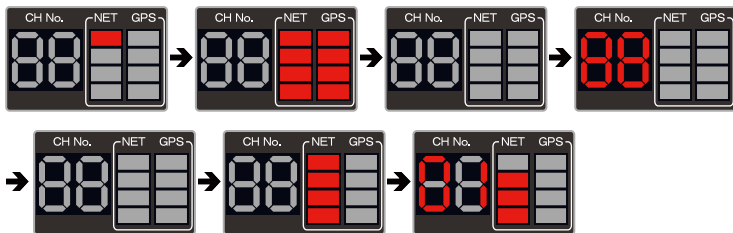
本体側コネクタ

電源を入れる

1. 本端末を取り付けた車両のエンジンをかける、または電源ボリュームつまみ①を押す。
 ー 通信可能状態になるまで約70秒程度かかります。(起動時間は通信環境により変動します。)



【接続までのインジケータ「CH No.」「NET」表示挙動】



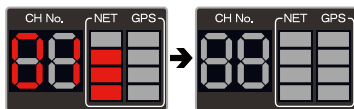
現在、設定されているチャンネル番号と電波受信状況が表示されます。

電源を切る

1. 本端末を取り付けた車両のエンジンをきる、または電源ボリュームつまみ①を押す。

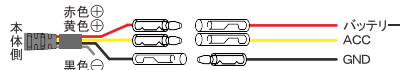


【電源オフ時のLEDインジケータ表示】



! ACC連動の場合は、自動電源オフ機能で設定(デフォルト値120分)されている時間経過後に電源が自動で切となります。電源をすぐに切りたい場合は、電源ボリュームつまみ①を押してください。

＜ACC連動で使用する際の配線＞



基本操作

交信の方法

1. PTTボタン①を押しながら、接続音(ピピッ)が鳴音してからマイク②に向かって通話相手に呼びかけ



2. 通話終了後は[PTTキー(送信)]を離す → 回線保持中(約5秒) → 待受け状態
・相手局が送信すると、受信した音声聞こえます。

音声通話形態

交互通信となります。送信と受信を交互に切り替えて通話します。

マイクの使い方

マイクと口元は約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、相手に聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。

回線保持中

自端末または相手局が、PTTキーを離してから約5秒間はその通信(回線)を保持しています。その間にどちらかがPTTキーを押すと通信を保持しているため、通話がスムーズに行えます。

自端末および相手局がPTTキーを離した状態(待受け状態)が約5秒以上続くと保持終了となります。再度、通話を再開したい場合は、呼出相手を確認のうえPTTキーを押してください。

連続送信について

[PTTキー(送信)]が押し続けられた場合、押し続けられる場合、不要な送信を防止するために、連続送信には通話時限が設定されております。

- ・グループ連続送信は1分を超えると自動的に送信を停止します。
- ・個別連続送信は5分を超えると自動的に送信を停止します。

通話を再開する場合には、再度[PTTキー(送信)]を押してください。

通話音量の調節

1. 電源ボリュームつまみ①を時計まわりに回すと大きくなります。反時計まわりに回すと小さくなります。



音量範囲

0(消音) ~ 15(MAX)

保証と責任

1. 保証対象および保証期間

当社は、正常な使用状態で下記の IP-PTT 無線機器 A901M(以下「製品」といいます)の材料上または製造上の欠陥に対し、お買い上げ日より以下に示す保証期間内の保証を行います。

IP-PTT無線機 A901M本体・・・1年間

当社は本保証規定に従い、保証期間内は無料で製品の修理、交換をいたします。本体の保証期間に関しましては、お客様がご購入になった製品の保証期間で算定されます。交換した製品または部品は当社の所有となります。本保証書は製品ご購入者に限り有効であり、第三者に譲渡されるものではありません。
当社と製品ご購入者の間で個別の同意が限られ、当社は製品の取付、メンテナンスまたはサービスの保証は行いません。当社は、製品の装着または接続して使用されている当社供給以外のアクセサリを使用した製品の運用に対し、いかなる責任も負いません。通信システムで本製品が使用される場合、当社は、そのシステム全体、サービスエリア、運用などをまとめて本保証規定で保証するものではありません。

2. 保証規定

本保証書は、製品に対する当社の責任と保証を定めたもので、一切の保証は保証期間内に限定されます。当社当該製品の使用もしくは不使用中に起因するご購入者の被る逸失利益、業務の中断、機会の損失やこれらに類する損害、または二次的損害などについての責任を負いません。

3. 保証サービスを受けるには

保証サービスを受けるためには、保証書(お買い上げ日、お客様名、販売店名、住所、電話が明記されており、製造番号ラベルシールが貼付されているもの)を添えて、お買い上げの販売店までご持参または郵送してください。送料、保険はお客様のご負担になります。

4. 保証期間内であっても以下の場合には、有料となります。

- (1) 保証書のご提示がない場合。
- (2) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名、住所、電話の記入捺印がない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (3) お買い上げ後の輸送、事故、落下等による故障または損傷。
- (4) 火災、地震、落雷、水害、塩害、公害、その他の天災地変および異常電圧、指定外の電源使用等による故障または損傷。
- (5) 説明書に記載の使用法に反するお取り扱いや使用上の誤り、不当な修理や改造による故障または損傷。
- (6) 消耗品が自然消耗、摩耗等により劣化した場合。
- (7) 製造番号が取り除かれた、または製造番号の判読ができない製品。
- (8) 製品の運用に影響を与えない、製品の表面についた傷、または外観上の損傷。
- (9) 本来の目的以外に使用された場合の故障又は損傷。
- (10) 本製品以外の機器や設置環境・電圧障害に起因する故障または損傷。
- (11) お客様の要望による出張修理の際の出張費用。
- (12) 修理品の発送に対する送料。
- (13) 保証期間を過ぎた補償請求。
- 防塵・防水性能を保証している製品においても次の場合は有料となります。
- (14) 雨の中、水滴が付着した状態、もしくは濡れた手で DC 電源ケーブル(付属品)や本端末の付け外し作業を行った場合。
- (15) 海水や砂、泥、洗浄液、洗剤等が本体に付着したまま放置した場合。
- (16) 落下等外的衝撃により、樹脂変形、歪み、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じた場合。
- (17) 弊社が定める指定アクセサリ品以外を使用した場合。
- (18) 本端末金属端子部の腐食による故障または損傷。
- (19) 使用温度範囲外で使用した場合。
- (20) 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置した場合。
- (21) 本製品を分解または改造した場合。

以下の場合は、修理ができないことがあります。

- (22) 本端末とマイク、別売品アクセサリを接続するコネクタ間に微細なごみ(糸くず、毛髪、砂等)が挟まっている場合
- (23) 説明書や検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基盤が破損・変形していた場合
- (24) 外部接続端子、ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合

5. 部品の保有期間

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後5年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービス(info@mobile.co.jp)にお問い合わせください。

6. 本保証書は日本国内のご使用においてのみ有効です。

7. 登録情報、ダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについては当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービス(info@mobile.co.jp)にお問い合わせください。

主な仕様

OS	Linux
無線通信仕様	3G/LTE
寸法 (W/H/D)	本体 約 125 × 30 × 123.7mm (突起物除く) スピーカーマイク約 59.6 × 90 × 28mm (突起物 / ケーブル除く)
重量	本体 約 400g (本体のみ) スピーカーマイク約 96g
環境仕様	動作温度 -20℃～60℃、動作湿度45%～85%RH
電源	DC 6V～32V
消費電流	650mA以下@13.8V、310mA以下@26.4V
インターフェイス	インジケータ (CH NO.・NET・GPS) USBコネクタ (USB2.0) 外部スピーカージャック (φ 3.5mm) GPSアンテナコネクタ

! この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

ユーザー専用サイト

ユーザー専用サイトでは、本製品をご導入いただいたお客様向けの情報サイトです。
本端末の運用マニュアル・取扱説明書や保守/障害情報など掲載しております。

アドレス <http://www.j-mobile.co.jp/user/>



j.mobile

www.j-mobile.co.jp

販売元 株式会社J-Mobile

D-No.JMMN002000 v2.1

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)

東京都墨田区菊川3-17-2 アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5 URL: <https://www.exselli.com/>